

第41号
平成26年4月1日発行
(偶数月発行/年6回)

七色花

【発行者】
中国・四国中国帰国者支援・交流センター
社会福祉法人 広島県社会福祉協議会
〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2
TEL 082-250-0210
FAX 082-254-2464
E-mail chushikoku-center@festa.ocn.ne.jp

広島県ボランティア研修会

広島市立白島小学校で2回の研修会を開催しました。1回目1月17日(金)は4年生に帰国者1世が中国結びという手芸を教えました。2回目1月29日(水)は卒業を迎える6年生に、66才で中学校に入學し、挫折しながらも勉強を続けた帰国者1世が体験を話しました。子供たちは事前に残留孤児についても勉強し、異なる文化を持つ人たちのためにできることは何か、悲しい歴史を繰り返さないためにはどうすればよいか、真剣に考えてくれました。



広島県高齢者施設見学・交流会

1月20日(月)広島県の帰国者を対象に高齢者施設見学・交流会を開催しました。見学先は利用者、スタッフともに大半が在日韓国・朝鮮人という施設で、デイサービスのレクリエーションに帰国者も参加させてもらいました。チームに分かれて対戦し、歓声があがるほどの盛り上がりでした。交流後は参加した帰国者から「とても楽しかった」「あんなに楽しい所があるなら、利用したい」「定期的に交流会をしてほしい」などの声が寄せられ、高齢者施設を身近に感じることで、利用を検討するきっかけができたようです。

学習発表会

3月3日(月)当センターにて学習発表会を開催しました。当日は受講生を中心とした大勢の帰国者が朝から準備をし、本番を迎えました。帰国者たちはそれぞれ、展示作品の鑑賞や講座体験、ステージ発表などを楽しみました。高齢のため、通所が難しくなった元受講生も招待しました。懐かしいクラスメートや講師と再会することができ、思わず笑顔がこぼれていました。



廿日市市異文化交流会

3月4日(火)広島県の帰国者が廿日市市にあるメンズクッキングクラブのメンバーと日中料理作りを行いました。今回は餃子作りを卒業し、帰国者もあまり作ったことのない焼売作りチャレンジしました。お互いに試行錯誤しながらも協力し合うことができました。交流会では、クラブのメンバーが中国の歌を中国語で歌いだすと、帰国者たちが懐かしみながら口々に歌い出し、大合唱となりました。

広島県健康増進交流会

3月17日(月)広島県の帰国者を対象に健康増進交流会を開催しました。広島市内のボウリング場に60代・70代を中心とした約50人の帰国者が集まりました。怪我をしないよう、みんな準備体操をしてゲームスタート! ボウルを両手で投げる帰国者や、普段は見せないような活発な動きを見せる帰国者など驚かされることばかりでしたが、みなさん、楽しく過ごせたようです。女性の1位は70歳の帰国者1世。表彰式でとても喜んでる姿が印象的でした。



投稿

徳島県にお住いの橋本恵理さんからメールをいただきました。

思い出の美味しい干し牛肉

今年の春節は例年より少し早く訪れたため、1月中に日本と中国両方の新年を祝うことができた。この時期になると私はとても故郷が恋しくなる。子どもの頃、新年を迎えると爆竹を鳴らしたり、新しい靴を履いて雪の上を走ったり、普段なかなか口にできないようなごちそうを頂いた。さらに、期末試験で全科目満点を取った時には、ご褒美として父が1斤(500g)の干し牛肉を買って来てくれた。子どもの頃を中国で過ごした30代・40代の人にとって、「高級なごちそう」干し牛肉はまだ記憶に新しいと思う。お店のカウンターに並んだばら売りの干し牛肉は、こげ茶色が五香味、黄色はカレー味だった。あの香辛料のいい香りを思い出すとたまらなく食べたくなる。しかし、干し牛肉は簡単には手に入らない。そこで私はひらめいた。主人も前々から食べたいと言っていたし、買えないなら自分で作ってごちそうしてあげよう。さっそく牛肉を買って、作り方をネットでダウンロードし、準備万端で作り始めた。まず、八角を入れて牛肉を約1時間半煮込んだ後、0.5センチの厚さに切り、醤油、砂糖、カレー粉もしくは五香粉を混ぜた調味料で半日ぐらい漬け込む。その後、オーブンで30分焼いて完成。主人と子どもたちが試食すると、みんなから「美味しい」「中国で売っているのと同じ味だ」と褒められ、とっても嬉しかった。みなさんも、もしよかったら作ってみてはいかがでしょうか。



中四国地域の活動報告～地域交流会～

2月17日(月)には岡山市中国帰国者支援グループ夢の花主催の異文化交流会が、2月22日(土)には東広島市主催の地域交流会が開催され、当センターの職員も参りました。どちらも、市役所の主催で担当職員がリードして一緒に料理を作ったり、体操をしたりしました。演芸披露には地域住民も多く参加し、帰国者が日本文化にふれる場ともなりました。このような交流会を通して地域住民の帰国者への理解がより深まるよう、これからも継続していただきたいと思います。



4月・5月の予定

4月21日	相談説明会 〔広島県〕	5月17日	企業見学・交流会 〔岡山県〕
4月26日	社会見学会 〔山口県〕	5月下旬	施設見学・交流会 〔広島県〕
5月10日	社会見学会 〔香川県・徳島県〕	5月未定	健康増進交流会 〔広島県東部〕

投稿募集

あなたも「七色花」に記事を書いてみませんか? みなさんからの投稿を募集しています。内容は日々の生活の出来事や中国での思い出、わたしこんな特技がありま〜す、など何でもかまいません。原稿は400字程度で、持参、郵送、FAX、メールでお願いします。みなさまからの記事をお待ちしています。

編集後記

出会いと別れの季節ですね。私の友人二人も転勤で広島を離れました。一人は京都、もう一人は台湾で新生活です。新しい環境は不安もありますが期待の方が大きいかもしれません。皆さんのご家族にも新しい環境で四月を迎えた人がいませんか? 少しさみしい思いをしている方もいらっしゃるかもしれませんが、新たな世界が広がっていくことをお祈りしています。(橋本)

七色花

广岛县志愿者研修会

今年在广岛市立白岛小学校举办了两次研修会。1月17日(周五)的第1次研修会上, 归国者1代教4年级学生做了中国结。1月29日(周三)以即将毕业的6年级学生为对象举办了第2次研修, 老师预先向孩子们介绍了残留遗孤的历史背景后, 当天由1代归国者向孩子们介绍了自己到66岁才有了中学入学机会, 即使遇到苦难也绝不气馁的体验讲述。为了不让悲惨历史重来, 希望通过这样的学习, 让孩子们有了认真的思考机会。



广岛县老人院观摩·交流会

1月20日(周一)以广岛县归国者为对象举办了老人院观摩·交流会。这次访问的老人院, 其中的利用者和工作人员不少人都是在日韩国·朝鲜人。归国者也一起参加了一日服务项目中的娱乐活动, 并进行了分组比赛, 场内不时传来阵阵欢声。参观结束后, 从归国者那里反馈到这样的心声「非常有趣」、「如果老人院都是这么轻松愉快, 自己今后也想利用」、「希望中心能定期搞这样的参观活动」。通过这次活动使大家对老人院有了亲切感, 当有必要之时也不妨试试利用利用。



学习发表会

3月3日(周一)在中心举办了学习发表会。很多学员一大早就赶到中心和工作人员一起进行了各项准备工作。各位归国者不但观赏了各科讲座的作品展示, 还参加了兴趣讲座体验, 最后欣赏了学员们的舞台表演。这次还特意邀请了由于高龄等原因不能定期来中心的各位老学员们, 让大家又有了和归国者朋友及老师同聚一堂的机会, 再次看到各位的满面欢颜。



廿日市市异文化交流会

3月4日(周二)广岛县的归国者和廿日市市的男士烹饪俱乐部成员一起举办了日中料理交流会。这次改以往的饺子, 一起尝试了学做烧卖。通过大家齐心协力完成了一桌丰盛的餐宴。交流活动中, 归国者和烹饪俱乐部的男士还分别表演了拿手节目, 当有位俱乐部成员唱起中国歌曲后, 在座的归国者也不禁一起同声伴唱, 变成一场欢快的大合唱。



广岛县促进健康交流会

3月17日(周一)以广岛县归国者为对象举办了促进健康交流会。以60岁·70岁为中心大约50名左右的归国者赶来参加了这次保龄球比赛。为了安全, 首先进行了简单的热身体操。当比赛开始后, 除了双手投球以外, 还有其他各种精彩投球姿势, 令人叹为观止。整场比赛中四处欢声笑语。比赛结果公布后, 女性的第1名是一位1代归国者, 表彰仪式上本人也不禁喜出望外。



投稿

下面的投稿来自德岛县桥本惠理女士发来的短信

记忆中的美食—牛肉干

今年的春节较往年早些, 一个月里既过了日本的新年, 又过了中国的新年。这便让我的思乡愁更浓了许多。想起了小时候放小鞭炮迎新年、穿着新鞋踩雪、大吃平时吃不到的美食, 还有期末考试全部满分, 得到了爸爸买的一斤牛肉干做为奖赏……。想着想着, 慢慢地口水流出来了。

做好的牛肉干



对于三、四十岁, 小时候在中国度过的人来说, 牛肉干这个“高档”美食一定记忆犹新。商店的零售柜台里, 那深茶色的是五香味的, 土黄色的是咖喱味的。每每闻到那调味料的香味都会诱惑得你的嘴和胃蠢蠢欲动。

突然心血来潮, 买不到不如自己动手做, 让老公也打打牙祭, 他也想吃想了很久了。于是买来牛肉, 在网上下载了制作方法, 一切准备就绪开工。先将牛肉用大料炖一个半小时, 然后切成半厘米厚的片, 再加生抽、糖、咖喱粉或五香粉浸泡半天, 最后用微波炉烤半个小时, 完成。

老公和孩子尝了以后都说好吃, 和中国的一个味儿。这时候心里特美, 大家也不妨试试。

中四国地区活动汇报~地区交流会~

2月17日(周一)由冈山市的中国归国者支援团体「梦之花」举办了异文化交流会, 2月22日(周六)由东广岛市



冈山市交流会时的情形

举办了地区交流会, 中心职员也被邀请参加了上述活动。两地的活动都是由市政府主办, 在担当职员带头下大家一起动手做菜肴, 一起舒展身体做体操。会上, 不少地区居民也参加了节目表演。借交流会既增加了归国者接触日本文化的机会, 又加深了地区居民对归国者的理解, 并且希望这样的活动今后还会继续持续下去。



东广岛市交流会时的情形

4月·5月预定

4月21日	咨询说明会	〔广岛县〕	5月17日	企业观摩·交流会	〔冈山县〕
4月26日	社会观摩会	〔山口县〕	5月下旬	老人院观摩·交流会	〔广岛县〕
5月10日	社会观摩会	〔香川县·德岛县〕	5月未定	促进健康交流会	〔广岛县东部〕

征集投稿

您不希望把自己的文章登载在「七色花」上吗?在此, 向大家征集稿件, 内容不限, 可以是日常生活琐事, 也可以是追忆往昔, 或者是介绍专项所长。原稿字数限400字以内, 投稿可直接送到中心, 邮寄、传真亦可。

期盼大家积极踊跃的投稿!

编辑后记

又迎来了这相识与分别的季节。我的两位友人也因为工作调动离开了广岛。一位去了京都, 还有一位在台湾开始了新生活。刚开始难免会有一抹对陌生环境的不安, 但是对未来的憧憬也许会更大。各位是否也有家人从新的环境开始迎来四月呢?如果有的话, 也许会有些寂寞, 但想到新的世界就等待在眼前, 在此衷心的为大家祝福! (桥本)